



／ こんにちは ／

No.130
令和7年11月

豊前市議会 です

祝豊前市制施行70周年記念式典



豊前市制施行70周年記念式典(令和7年10月4日)

CONTENTS 目次

7月 臨時会 (7/14)

9月 定例会 (8/27～9/17) 主な内容

議案の概要・令和7年7月臨時会議案審議結果 …… 2～4P

令和7年9月定例会議案審議結果 …………… 5P

一般質問 …………… 6～11P

トピックス・編集後記……………12P

＼ 議会へのご意見をお寄せください /

発行 /

豊前市議会 (豊前市大字吉木955)

TEL 82-8137 (直通)

ホームページ/

[https://www.city.](https://www.city.buzen.lg.jp)

[buzen.lg.jp](https://www.city.buzen.lg.jp)



議案の概要

第4回臨時会

令和7年第4回臨時会は、7月14日の1日間の会期で開催されました。

市長より補正予算1件、その他案件1件が提出されました。総務委員会では審査され、原案どおり可決されました。

また、市長より、これまで不在であった副市長を選任する人事案件が提案され、原案どおり同意されました。

同意案件

市長からの提案に対し、賛成多数で同意しました。

(敬称略)

■副市長

豊前市大字堀立

清原 光

第5回定例会

令和7年第5回定例会は、8月27日から9月17日までの22日

間の会期で開催されました。

市長より条例案件3件、補正予算3件、決算案件9件、その他案件1件、報告案件7件の合計23件が提出されました。

各委員会では慎重に審査した結果、原案どおり可決・認定されました。なお、議案第42号、46号、議案第49号、51号については反対討論がありました。

最終日には、議会運営委員会より意見書案1件が提案され、原案どおり可決されました。

また、市長より人事案件が提案され、原案どおり同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしとなりました。

(敬称略)

■人権擁護委員の候補者

豊前市大字赤熊

森本 隆雄

豊前市大字鳥井畑

矢鳴 実佳

豊前市大字天和

池田 敏之

令和7年7月臨時会 議案審議結果

「○」… 賛成 「●」… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	宇都宮正博	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	福井昌文	岡本清靖	賛成	反対
同意案第3号	豊前市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	退席	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議案第40号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第41号	令和7年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	議長	10	2

《令和7年度一般会計補正予算の概要》

令和7年第4回臨時会「令和7年度一般会計補正予算(第2号)」の審査を行いました。総務委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第41号】令和7年度豊前市一般会計補正予算(第2号)

緊急に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇人事管理費(副市長人件費)

7,490千円

◇人事管理費(退職手当)

24,556千円

◇利子(一時借入金利子)

21,800千円

《令和7年度一般会計補正予算の概要》

令和7年第5回定例会「令和7年度一般会計補正予算(第3号)」の審査を行いました。各常委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第46号】令和7年度豊前市一般会計補正予算(第3号)

国・県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇税務総務費(過誤納還付金)	9,000千円
◇保育士配置改善支援事業費補助金	996千円
◇こども食堂支援事業費補助金	480千円
◇プレミアム商品券発行事業補助金	3,000千円
◇J-ALERT受信機等更新業務委託料	2,559千円
◇学校給食費助成金(小学校)	33,129千円
◇学校給食費助成金(中学校)	12,639千円

【意見書案第1号】(提出委員会:議会運営委員会)

再審法改正を求める意見書

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つである。えん罪被害者を救済する制度である「再審」は、刑事訴訟法に定めがあるが、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどない。よって、えん罪被害者を一刻も早く救済するため、捜査機関の手元にある証拠を開示させる仕組み及び再審決定後の検察官の不服申立てを認めないことも含め、法律を速やかに改正すべきである。

以上について、国へ強く要望しました。

産業建設委員会の申し入れ事項

◎プレミアム商品券については、現在、大型店舗での使用割合が大きくなっており、地元への経済効果が薄れている。今後の事業については、効果検証を行った上、継続並びに見直しを検討すること。

文教厚生委員会の申し入れ事項

◎バス利用者の声を取り入れることで、利便性を向上させ、利用者の増加に努めること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎内丸伸一○増田泰造・爪丸雄太・渡辺美智子・村上勝二・為藤直美・郡司掛八千代
文教厚生委員会	◎梅丸晃○為藤直美・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一・岡本清靖
産業建設委員会	◎秋成英人○梅丸晃・宇都宮正博・爪丸雄太・内丸伸一・郡司掛八千代・福井昌文
議会運営委員会	◎為藤直美○村上勝二・渡辺美智子・梅丸晃・内丸伸一・秋成英人

住民の納得できる予算執行が
なされたか？

令和6年度の 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月11日～12日の2日間にわたり開催し、令和6年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされましたが、申し入れ事項は次のとおりです。

決算審査に関わる決算特別委員会が設置されました。

メンバーは以下のとおりです

委員長	平田 精一
副委員長	爪丸 雄太
委員	宇都宮 正博
委員	渡辺 美智子
委員	増田 泰造
委員	梅丸 晃
委員	村上 勝二
委員	為藤 直美
委員	内丸 伸一
委員	秋成 英人
委員	福井 昌文

決算審査における 申し入れ事項

令和6年度 豊前市一般会計歳入歳出決算について

◎指定管理者に関しては、法令を遵守し、適切に業務が遂行されているか、定期的にチェックを行うこと。また、委託事業については、費用対効果を検証すること。

◎債権管理が適切に行われるよう、対策を講じること。

以上、申し入れました。

令和7年9月定例会 議案審議結果

「○」… 賛成 「●」… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	宇都宮正博	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	福井昌文	岡本清靖	賛成	反対
議案第42号	豊前市立学校設置条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第43号	豊前市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第44号	豊前市立義務教育学校の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第45号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第46号	令和7年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第47号	令和7年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第48号	令和7年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第49号	令和6年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第50号	令和6年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第51号	令和6年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	議長	10	1
議案第52号	令和6年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第53号	令和6年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第54号	令和6年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第55号	令和6年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第56号	令和6年度豊前市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
議案第57号	令和6年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
意見書案第1号	再審法改正を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長	11	0



議長
岡本 清靖



副議長
福井 昌文

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問

(増田泰造議員)

- ① 平和教育
- ② 学校における熱中症対策
- ③ こども誰でも通園制度
- ④ 緊急通報システム
- ⑤ 廃食用油のリサイクル



(郡司掛八千代議員)

- ① 豊前市の防災・災害
- ② 豊前のフレスポの今後
- ③ イベントの取り組み
- ④ 補助金の見直し



(渡辺美智子議員)

- ① 在留外国人との「共生社会」の実現に向けて
- ② 学校再編成、学校跡地問題
- ③ 定住促進に向けての取り組み
- ④ 介護分野における行政サービスの課題



(梅丸晃議員)

豊前市の防災・減災

- ① 自助の取り組み
- ② 共助の取り組み
- ③ 公助の取り組み



(宇都宮正博議員)

- ① 企業誘致
- ② 自治会への移行
- ③ 健康長寿の取り組み
- ④ ごみ処理施設



(爪丸雄太議員)

- ① 企業合同就職説明会
- ② 中1ギャップ対策



(村上勝二議員)

- ① 豊前市の事業と財政
- ② 子どもと市民のいのちとくらしを守るために
- ③ 生活保護行政
- ④ 第3セクター
- ⑤ 国際共生社会



(為藤直美議員)

- ① 地域からの課題と対応
- ② 豊前市の未来ビジョン



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

平和教育について



増田 泰造

聞いたりしている。小学校では、修学旅行で長崎や広島を訪れ、平和公園や原爆資料館を見学、被爆者に直接話を聞くなどしている。

増田議員 1945年、広島・長崎に原爆が投下され、わが国は戦後80周年を迎えた。長崎大学核兵器廃絶研究センターの中村桂子准教授は、「広島・長崎は唯一の戦争被爆国として、原爆体験などを伝える平和教育に力を入れ、その成果が出ている。この平和教育を補うのが、具体的な核廃絶への道筋を学ぶ軍縮教育だと考える」と、新聞紙面に掲載している。そこで、本市の小・中学校における平和教育の授業時間と内容をお聞きする。

学校教育課長 市内小・中学校での平和教育は、8月の平和を祈念する日などに登校日を設け、全校児童・生徒による平和集会と学年別の平和学習を行っている。中学校では、語り部の方を県外から招いたり、市外の戦争体験者から話を

増田議員 私ごとだが、我が家の法事の際に、23歳で戦死した伯父が、当時家族で唯一の男であった父に、死を覚悟した最後のハガキを宛てていたことを知り、もっと早く聞いておくべきだったと後悔の念にかられた。次の世代に語り継ぎながら反戦の火を消さないことが大切であり、子どもへの使命ではないか。戦時中を生き抜いてこれられた方の証言や遺品を子どもたちが自ら目や耳を通して、感じ取れる教材が必要だと考えるが、教育長いかがか。

教育長 平和教育は特に大事にして取り組んできたところである。戦後80年ということは、本当の生の戦争の恐ろしさや平和の尊さを子どもたちに直接語ってくれる方は、ますます厳しくなっていく状況である。豊前市出身の特攻隊の方の

体験談を語ってもらったり、戦死された方の遺品をいただいた経緯は過去にある。生の資料を提供いただける方がいれば、学校の授業につなげるかたちで考えたい。

増田議員 市長、この件、いかがか。

市長 戦争をしないためには戦争を理解し、平和を学ぶ必要がある。語り部が減少する中、資料や当時の体験をヒアリングし、収めておくことが必要だと思う。広島・長崎の中間地点が上毛町になっており、今後は、平和を考えていくこと、戦争というものを知ること、は、広域での考え方があってもいいと思っている。平和と戦争を学ぶことができる機会をつくっていきたい。

増田議員 世界平和のために、ぜひ検討をお願いする。



補助金の見直しについて



郡司掛 八千代

郡司掛議員 学校再編に伴い、多くの予算が必要となるが、新たな事業を実施するためには、必要な事業とそうでないものを仕分けし、予算を確保する必要があり、考える。現在どのような事業仕分けの事務を行っているのか伺う。

総合政策課長 豊前市では総合計画の施策実現に向けて進める基本事業について、達成度と効果、妥当性を評価するため、毎年事務事業評価を実施している。しかし内部評価にとどまり、十分な効果が得られないなど、課題が残っている状況である。

郡司掛議員 各担当課で補助金交付事務があると、思うが、実際どのような見直しが行われているのか伺う。

財務課長 豊前市が交付している補助金は、原則3

年ごとに見直しを図るよう要綱を定めている。各所属が必要性を判断し、廃止・継続の決定を行っているが、十分な効果が得られていない状況である。今後は、第5次行財政改革推進プランにのせ、しっかりと取り組むとともに、事務事業評価については、内部評価にとどめず、外部評価の導入も含め検討していきたい。

郡司掛議員 今後、子育て支援や若者の定住促進に

取り組むためには、従来の事業を機械的に継続するのではなく、時代の流れや市民ニーズに合った新しい取組も必要である。新たな市長になり、これからの世代が豊前市で働きたい、住みたいと思うような事業を取り組むためには、一つ一つの事業がこれよりよいのか、一旦考えることも必要である。より良い豊前市になるよう、職員とともに取り組んでいただきたい。市長にこれからの取組を伺う。

市長 今議会の初日に監査委員から、次の世代に負

担を残すのではなく健全財政を行ってほしいとの提言を受けている。そのためには、事業仕分けを行政内だけでなく民間の目も通しながら、事業をしっかりと見極め、新しい財源と収入・支出のバランスを取っていかねばならないと思っている。一方で、同時に、将来の投資をやつていかなければならないと思う。出るところと絞るところを明確にし、行政運営、将来への投資のため、財源をつくってきたい。



在留外国人との「共生社会」の実現に向けて



渡辺 美智子

渡辺議員 近年、本市では

外国人労働者やその家族の定住が進み、地域社会において、外国人住民と共に暮らしていく「多文化共生」の重要性が高まっている。人口減少や労働力不足が深刻化する中、外国人の存在は地域の活力を支える一方、生活習慣や文化の違いから、様々な課題も生じている。迷惑行為を企業や不動産屋などに直接連絡することも確認されており、中には狩猟免許を取得していないにも関わらず、野鳥を捕獲しているとの事例が報告されている。これは、法令違反と同時に法令遵守と啓発の必要があると考えるが、市は把握しているか。

国際共生推進室長 令和

4年度に国際共生推進室が発足して以降、相談を受けていない。

渡辺議員 このような生活習慣の違いによるトラブル対応について、外国人住民と日本人住民双方が安心して相談できる窓口や仲裁体制の整備を検討しているか。

国際共生推進室長 まず

は、市役所の国際共生推進室が対応するが、内容に応じて各部署や警察とも調整していく。なお、令和元年に関係機関との連絡会を市の声かけにより行ったが、それ以降は開催していない。

渡辺議員 地域住民との

間でトラブルが発生した場合、行政だけではなく企業や警察、地域の方が一体となり情報共有や対策方法を話し合う場が必要と思っている。今後、定期的に意見交換会や課題共有を行う協議会のような仕組みを立ち上げる考えはあるか。

国際共生推進室長 ご提

案の協議会を国際共生推進室が持つ計画は、今のところない。今後の困りごとの共有、解決策の枠組みに

については、関係機関が負担にならないような連絡方法をこれから検討していく。

渡辺議員 「郷に入っては

郷に従え」という言葉があるが、豊前市に縁あって勤務し、生活している外国人住民の皆さまにも、地域のルールや法令を理解し、守っていただくことが大切である。それにより、安心して快適に暮らしていただけるのではないか。2027年には、技能実習生制度から育成就労制度への移行が予定されている。外国人との共生社会の実現に向け、行政主体で意見交換会や協議の場を設ける案について市長の見解を伺う。

市長 我々行政として、官

民一体となった協議会、意見交換の場を喫緊につくっていくかなければならないと思っているので、研究していきたい。



豊前市の防災・減災について



梅丸 晃

梅丸議員 自助にはソフ

ト面とハード面の2側面がある。ソフト面は、防災知識の備えであり、市民への防災・減災につながる自助啓発の取組である。事前防災を知る・学ぶ機会を市民に提供することは、行政の役割だと考える。ハード面は、耐震化と備蓄品で、住宅の耐震化や家具等の固定により減災へとつながる。現在、市民に対する防災意識の啓発活動は行われているか。

総務課長 令和6年度末

にハザードマップを更新し、身の回りの災害リスクの確認や事前の備えをしてもらうことを目的に、本年6月に市報と併せて各戸配布を行った。また、大雨や台風への備え、持ち出し品の常備など、適切な時期に市報に掲載し、防災意識の向上を図っている。今後は、ハザー

ドマップを活用して避難経路や避難場所の確認、地震発生時の動きなど日常的に意識を持つよう、情報提供や伝達手段の充実に努めたい。

都市住宅課長 大地震に

より住宅の倒壊を防ぐには耐震化対策が重要である。市では住宅耐震改修費の補助があるが、事前に耐震診断を受けるなどの条件がある。市報やホームページなどで補助制度の周知を行い、耐震改修の推進に努めたい。

梅丸議員 ハザードマップ

は配布するだけでなく、市民が平時に確認・記入するなど、自分ごと化につながる自助啓発を進めてもらいたい。公助は災害時に市民の生命・財産を守る使命がある。日々私たちを見守っている消防署員がいるが、災害時に救命・救助の最高の任務ができるよう、ハード・ソフト両面の環境整備を組合として検討をお願いする。今後、豊前市が、防災・減災にどう取り組んでいかなければなら

ないか、市長の考えを伺いたい。

市長 公助でできる限界

があるからこそ、自助・共助の順番で気持ちを醸成していくことが大切だと思った。公助におけるインフラ整備は、優先順位をつけてやらなければならないし、啓発活動は、平日頃から行っていく。行政として公助の環境をつくっていくようにしていきたい。

梅丸議員 ぜひ、お願いし

たい。自治体における防災・減災の取組は、市民の生命・財産の保護のため、災害発生時に被害を最小限に抑えるためであり、そのため地震・豪雨・台風などの自然災害の激甚化・頻発化に備える必要がある。また、平時から地区や団体と協力し、防災意識を高めることで、自助・共助の啓発、防災力向上を図らなければならぬ。命と地域を守り、持続可能な安心社会をつくるために、豊前市の防災力が総合的に向上する取組を行っていただくようお願いする。

ごみ処理施設について



宇都宮 正博

宇都宮議員 中津市からのごみ処理施設の共同運営打診への検討状況と、今後の対応方針について伺う。

生活環境課長 現在、吉富町、上毛町、中津市、それに豊前市外二町清掃施設組合で、焼却方式及び中継方式の建設費や運営費の試算を行っているところである。

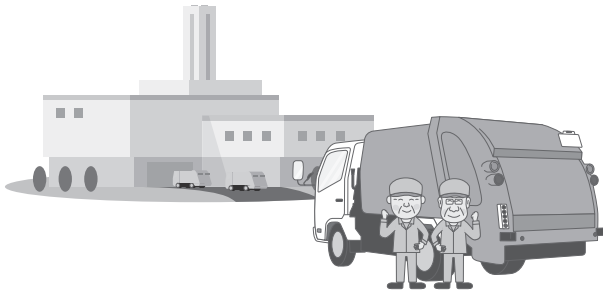
宇都宮議員 市長は、中津市との共同運営について、処理コストや運営費だけでなく、他の視点も持って検討し、判断を行う方針である。また、地元とも協議しながら検討を進めていきたいと答えている。厳しい財政状況にある豊前市において、ごみ処理対策が豊前市民全体の問題点であるとの観点から、中津市との共同運営か、北九州市への処理委託か、それとも

けあるのか。2点目が、ごみの直接搬入に関する市民サービスがどうなるのか。3点目が、今の職員の処遇。4点目は、広域市町との関係性をどう見るか。

この4点を中心に考えていきたいと思っている。それらのバランスを考慮しながら、豊前市にとって最適解というものが何なのか、コストだけでなく様々な要因

というのは、この4つの要素をメインに考えて、どうするのかという判断を行ってきたい。

宇都宮議員 豊前市民全体の納得感のある判断をお願いする。



中1ギャップ対策について



爪丸 雄太

を行い、教職員が連携し、悩みの早期解決に努めている。スクールカウンセラーが3名配置されており、学校の求めに応じて教育相談を実施している。

爪丸議員 学校部活動に対して悩みを抱えている子どもに、部活動アンケートを実施しているか伺う。

学校教育課長 学校部活動に特化したアンケートは実施していないが、生活アンケートの内容に学校部活動や委員会が楽しみか心配はないかなどの項目を設けている。

爪丸議員 福岡県が作成した学校部活動のガイドラインによると、学校部活動は学校教育活動の一環であり、外部指導者は顧問の教諭等と連携・協力しながら学校部活動のコーチなどとして技術的な指導を行うと記載がある。学校部活動の在り方、学校と部活動指導員、外部指導者の連携や協力について教育長の考えを伺う。

教育長 現在、顧問・外部指導者、加えて部活動指導

員の関係性が取れていないところがあると伺っている。教育委員会としては部活動指導員・外部指導者にガイドラインを周知し、顧問との連携を自覚してもらう指導をすべきではないかというところで内部協議をしている。

爪丸議員 男子マラソン元日本記録保持者高岡寿成氏の言葉に「夢みることはできること」という言葉がある。豊前市の子どもたちも夢に向かって進路を選ぼうとしている。子どもたちに市長からエールの言葉をお願いする。

市長 自分自身の夢に向かって頑張っていただけのように、我々大人が子どもたちに頑張っている姿を見せられるよう努めていきたい。

爪丸議員 自らの意志、力で夢に向かって学校生活を有意義に過ごしていただきたい。



第3セクター



村上 勝二

民の財産を取り戻そうと告発に持ち込んだ市と議会の対応は、何か落ち度や瑕疵があったのか。

村上議員 豊前市が行った豊前開発環境エネルギー株式会社に対する特別背任罪の告発は、不受理となった。その後、会社役員が記者会見を開いたようだが、何が語られたのか分からない。何か掴んでいれば教えてもらいたい

総務部長 記者会見について一切知らされておらず、内容も分からない。

村上議員 この会社は、警察の調査が終了し押収資料が戻っていながら、株主総会の開催や会議の議事録・決算書及び各種内訳資料・監査報告書・市からの出資金解消の申出に係る協議内容など、書類提出の要請に何ら応えていない。市や議会、また市民に対しても極めて不誠実な会社である。480万円の市税を投入しており、まさに市民の批判はここにある。市

総務部長 市としても再三にわたり、会社側に必要書類等の提出や様々な要請を行ってきた。市民に説明責任を果たすため、現在も同様の要請を続け、現状確認を行い、できる限りの努力をしている。

村上議員 元々は漁場の水質改善のためハービーズを活用し、漁業振興の取組として市と企業10社が出資し第3セクターを設置した。会社の定款・資本金・会社役員など何も示されずが党は反対したが、議会は承認している。設置ありきで進められており、利権の具にされたのではないか。2020年に黒字転換したことで、2021年に市は、出資金解消を申し出たが、その直後に県の調査が行われ、廃棄物処理の許可が取り消された。2022年に役員が有印公文書偽造容疑などで逮捕され、懲役3年、執行猶予

5年、罰金50万円の判決が出ている。にもかかわらず、市と市議会の要請に対し、資料が見つからない、体調が悪い、身動きがとれないなどの理由で拒んでいる。この問題は全く解決していない。市長は6月議会です役員や家族の方に迷惑をかけたとして陳謝したが、これまでの経過をしっかりと認識した上での陳謝なのか。この場で陳謝の撤回を求めたい。

市長 陳謝は第3セクターに対してではなく、中傷を受けた方々への陳謝であり、撤回はしない。

村上議員 第3セクターの役員が記者会見まで開いて弁明をしたと思うが、市長の陳謝は受け入れられない。この会社には真摯な姿勢が全くなく、様々な対応は、市民に対しての道義的な責任が問われているのではないか。いまの豊前市の中で利権体質を払拭するためにも、引き続き追及を進めていく。



豊前市の未来ビジョンについて



為藤 直美

為藤議員 交流人口の拡大と空き家、公共施設の活用について伺う。空き家は昨年の調査で1103軒あり、今年度は物件調査をするということである。豊前市はいち早く空き家バンクを設置し、人口増にながっている。近年の空き家バンクの動向、移住者の人数を伺う。

生活環境課長 売買・賃貸合わせて67件の契約、61名市外から転入している。

為藤議員 交流人口について、お話し居住施設「山内のいえ」は、田舎暮らし体験などに活用されているが、利用状況や利用者拡大に向けた取組について伺う。

商工観光課長 「山内のいえ」の過去3年の利用状況は、大きな変動はなく、年間約20件の申込、利用日数は平均160日程度である。

る。この施設は、市外からのお試し居住が主であるが、文化活動や高齢者事業、交流人口拡大に向けた交流事業にも活用可能であり、今後は移住・定住、交流人口拡大に向け、情報発信をしていきたい。

為藤議員 また、交流人口拡大の大きな取組の一つである「豊前市ハレノヒ実現プロジェクト」の4年間の内容がまとめられた。KITTENやZigzagの立ち上げ、お仕事パレット開設、求菩提茶屋のリニューアルオープンなどがなされた。この実績は、全国に豊前市を大きくPRでき、携わったスタッフには、頭が下がる。このプロジェクトに関わった副市長に、今後期待するところを伺う。

副市長 このプロジェクトには当初から携わり、駅前の活性化や賑わいづくりに寄与できたと思っている。今後は、若者が豊前でも働けるという見本になるかもしれないので、もう少し拡大していきたい。

為藤議員 公共施設の活用について、豊前市の公共施設数と築年数を伺う。

財務課長 市が保有する公共施設は94施設で、その多くが築年数40年以上経過している。

為藤議員 財政の厳しい中、使用する施設とそうでないものを区別し、耐用年数なども考慮し、優先順位を付けているのか。

財務課長 整理はできていないが、現状の公共施設は、基本的に維持補修をして継続使用していきたいと考えている。仮に大規模改修又は更新が必要になった場合は、施設の必要性を検討し、判断してまいりたい。

為藤議員 この件について、市長の考えを伺う。

市長 一般的に自治体の首を絞めるのは、自治体の持つ財産だと言われている。行政としての役割を再度考えながら、どうしていくのか、喫緊に検討する必要があると思っている。

為藤議員 優先順位、建物の現状をしっかりと把握した上で、計画的に整備を進めていただきたい。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



福井 昌文



内丸 伸一



秋成 英人

- (内丸伸一議員)
- ① 広域運営
 - ② 市民サービス
 - ③ 防災
 - ④ 廃校利用



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご閲覧ください。

広域運営について

内丸議員 広域運営について伺う。現在、広域で運営している組織は、どのくらいあるのか。

総合政策課長 広域で運営している組織は、9つの一部事務組合と1つの公営企業である。

内丸議員 その中の清掃施設組合は、ごみ処理場と

し尿処理場を有しているが、そのごみ処理場は更新時期が迫っており、建て替え又は北九州での処理委託を検討していたと思う。昨年中津市のごみ処理場を更新するにあたり、共同運営の打診があり、この件については、昨年12月に質問をした。4月から市長も代わったので、現在の状況を伺いたい。

生活環境課長 一般廃棄物処理の枠組みについては、西元市長が就任され、中津市を含む広域処理についても再検討するよう指示があった。その指示を受け、吉富町・上毛町・中津市及び清掃施設組合で、焼却方式及び中継方式の建設費・運営費を再度試算して

いる状況である。

内丸議員 今後の動向や状況に変化があれば、議会や地元六区協議会に報告・相談をお願いしたいと思うが、いかがか。

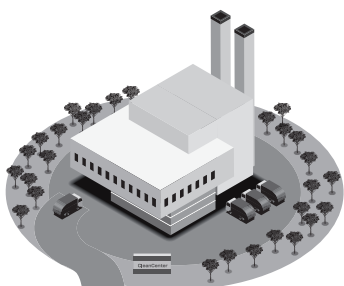
生活環境課長 いま資料を作っている中で、資料がそろったら速やかに、議会及び地元六区協議会に提案・協議を行い、しっかりと説明をし、判断を行ってまいりたい。

内丸議員 今まで議会軽視に思えるような場面が多々あったと思う。また地元にも全然相談がないということがあったので、今後は是非、議会にも報告していただき、地元にもしっかりと説明をしていただきたいと思う。運営費だけでなく、近隣自治体との連携なども考慮し、最適解を見つけ、今後しっかりと協議していただきたいと思うが、市長、いかがか。

市長 広域連携でやっているごみ焼却施設については、いま様々な手法を検討している。施設は一度建設すると約40年使うものなの

で、コストや運営費だけでなく、住民の利便性など様々な観点から検討しなければならない。北九州だけでなく、中津市を含む二市二町でやっていく方法も検討すべきではないかというところで、着任後に指示をした。議会や六区協議会とも相談し、どのような方式・手法が豊前市及び広域行政にとって最適解なのか出すための判断材料を、いま集めている。これが整ったら速やかに、相談させていきたいと思っている。

内丸議員 よろしく願いたい。



議会関係ハラスメント根絶のための議員研修



議員研修の様子

令和7年7月9日、福岡県議会主催の議会関係ハラスメント根絶のための議員研修に参加しました。

小田理恵子氏による「地方議会におけるハラスメントの実態と防止策～住民の信頼を失わないためにすべきこと～」また、山口真一氏による「SNS時代の誹謗中傷問題～議員に求められるリスク対策と情報発信のあり方～」について、ご講演いただきました。

研修会に参加し、政治活動におけるハラスメント抑止力に繋がる貴重なお話を聴くことができました。

第11回 議会報告会を開催します！！

本会議や委員会での審議報告に加えて、身近な地域の課題などについて意見交換をします。皆様のご参加をお待ちしております。

日 程	時 間	会 場
11月14日(金)	13時～	豊前市総合福祉センター
11月15日(土)	10時～	豊前市役所3F大会議室

※どちらの会場にもご参加できます。

編集後記

10月4日に豊前市制施行70周年記念式典が挙行されました。昭和30年に1町8村が合併し誕生した豊前市ですが、様々な困難を乗り越えていながらの70年。次の80年に向けて市の課題を明確にし、解決・改善策を講じていかなければなりません。

式典では市内小中学生から募集した「未来の豊前市」をテーマに、こども作文コンクールで選ばれた11名が表彰され、豊前市の価値を再確認できる素晴らしい作文がたくさんありました。

次の世代に何を残せるのかは、我々大人の役目です。次世代に繋げていけるよう邁進していきます。

梅丸 晃

次回の定例市議会は
12月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
みなさんの傍聴をお待ちしています。
また、本会議については、インターネット中継
をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

- 印刷 築上印刷有限会社